

EYES PROJECT

【 募集要項 】

ダイバーシティをはぐくむ EYES プロジェクト：多文化共生とアート EYES for Embracing Diversity: Multicultural Coexistence and Art

2019 年 10 月 9 日-21 日 フィリピン+日本プログラム

1. 事業概要

ダイバーシティをはぐくむ EYES プロジェクト(以下、EYES プロジェクト)は、アジアにおける多文化共生社会のあり方を考える、全 13 日間の研修プログラムです。フィリピンと日本を研修地とし、アートを用いて文化的差異を包摂し豊かな社会の形成を目指す「多文化共生」を考えます。13 日間の研修を通して、アジア域内における実務者間のネットワークを形成し、研修地両国における「人の移動」の実態(フィリピンにおける送り出し国の側面、日本における受入国の側面など)や「多文化共生」推進活動を理解するとともに、アートの手法を取り入れた「ワークショップ」を行うことで「多文化共生」社会を学び、推進します。帰国後、各参加者の活動現場における EYES プロジェクトの学びを活かした事業の実施を奨励することで「多文化共生」社会の実現を目指します。

2. 目的

- (1) 「多文化共生」を推進する実務者が、アジア域内各国の「人の移動」の実態ならびに「多文化共生」を理解することで、アジア域内における文化的差異を包摂した豊かな社会の形成を目指します。
- (2) 「多文化共生」を推進する手法の一つとして、アーティストによる「ワークショップ」に参加し、アートを用いた「多文化共生」の推進を理解します。
- (3) アジア域内における「多文化共生」を推進する実務者間のネットワークを構築し、域内のダイバーシティの拡充を目指します。

3. 期待される成果

EYES プロジェクトは、事業終了後、EYES プロジェクトの参加者(以下、EYES フェロー)が、EYES プロジェクトでの学びを活かした事業の企画/実施を行うことを奨励します。各 EYES フェローがそれぞれの活動分野で事業を実施することで「多文化共生」を実現する社会へのインパクトを目指します。

4. 事業内容

事業実施地(フィリピンおよび日本)において、視察および参加者間のディスカッションを通して、「人の移動」の実態や「多文化共生」の実践の理解を深めます。視察先については、フィリピンでは、「送り出し国」の側面、日本においては、「受け入れ国」の側面に焦点をあてます。また、実践的な学びとして、アーティストによるアートを用いた「ワークショップ」を実施します。

- (1) 実施日程:2019 年 10 月 9 日～21 日(13 日間)

EYES PROJECT

(2) 実施地:フィリピンおよび日本

(3) スケジュール例

	AM	PM	
Day1	Arrival in Manila	Orientation	Philippines
Day2	Philippines program 1		
Day3	Philippines program 2		
Day4	Philippines program3		Japan
Day5	Fly to Japan (Haneda)		
Day6	Orientation	Lecture 1,2	(Tokyo)
Day7	Japan program (Tokyo)		(Tokyo)
Day8	Japan program (Tokyo)		(Tokyo)
Day9	Japan program (Tokyo)	Tokyo to rural area	(Tokyo/TBC)
Day10	Japan program (Rural area)		(TBC)
Day11	Return to Tokyo	Preparation for a reporting session	(Tokyo)
Day12	Preparing for a reporting session	Reporting session	(Tokyo)
Day13	Departure		

5. 参加者資格

EYES プロジェクトには、日本のほか、インド、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、カンボジアより 13 名(予定)が参加します。参加者は、文化的差異を包摂し豊かな社会の形成を目指す「多文化共生」を推進する実務者(例えば、外国人労働者、移民、難民、結婚移住者、留学生などを支援する行政機関や NGO に所属する方や「多文化共生」をテーマに活動するアーティストなど)で、

- ・ アートを取り入れた実践に関心のある人(現代美術、ダンス、演劇など)
- ・ 本プログラムの趣旨を理解し、協働プロジェクトとして他の参加者と共に取組み、学ぶ意欲のある人
- ・ 所属機関の中でもリーダー的役割を担っている、原則 25~40 歳
- ・ 事業実施後に、本事業の学びを活かしたプロジェクトを企画/実施できる人
- ・ 英語での講義を理解し、ディスカッションに参加することができる程度の英語力を持つ人
- ・ フィリピンおよび日本で実施される両プログラムに参加できること
- ・ 健康であること
 - i. 持病

原則、持病をお持ちの方は、本プログラムに参加することはできません。持病には、慢性肺疾患、免疫不全疾患、慢性心疾患、代謝性疾患(糖尿病)、腎機能障害、肥満などが入ります。
 - ii. 妊娠

母体の健康保持のため妊娠中の方は参加できません。

EYES PROJECT

iii. 体温

自宅を出発する時点において、参加者の体温が 38 度以上であった場合にはプログラムに参加することはできません。

6. 応募方法

次の書類を、2019 年 7 月 28 日(日)必着で国際交流基金アジアセンター文化事業第 2 チーム宛に、電子メールにてお送りください。

(1) 提出書類

- ① 応募用紙(The Application Form for the EYES for Embracing Diversity 2019)
ウェブサイトより応募用紙をダウンロードの上、最終頁にある「個人情報保護に関する同意」にサインを記入し、PDF データを提出してください。
- ② パスポートの写真ページ
有効なパスポートをお持ちでない場合は、本事業に参加が確定した段階ですぐにパスポートを申請し、写真ページのコピーを提出してください。
- ③ 応募者の顔写真データ(自撮り不可)

(2) 提出先

国際交流基金アジアセンター 文化事業第 2 チーム EYES プロジェクト係
※電子メールで送付時に、件名を「EYES プロジェクト 参加申し込み」とし、Maki_Kudo@jpf.go.jp 宛てにお送りください。

(3) 応募時の注意事項

- ・ 選考に当たり、面接（対面、オンライン、電話）を行う可能性があります。
- ・ 選考結果は、8 月中旬にすべての応募者へご連絡いたします。

7. 待遇と参加条件

(1) 待遇

参加費は無料です。必要な交通費(日本国内移動費、国際線航空券、現地での移動費を含む)、宿泊費、食費、プログラム期間中の活動費、海外旅行保険料は国際交流基金が負担します。

(2) 禁止事項

プログラム中、以下の行為は認められません。

- ・ EYES プロジェクト前後に、滞在国に延泊する行為
- ・ 発券後のフライトの変更
- ・ 同伴者
- ・ プログラムの途中で帰国するなどプログラムを最後まで終了しない行為
- ・ 事業実施地への往路または事業実施地からの復路に第三国に立ち寄ること

(3) その他

- ・ EYESプログラム期間中の宿舎においては、他のEYESフェローと同室となる可能性があります

EYES PROJECT

す。

- ・ 食事制限のある方には、できるだけ配慮いたしますが、プログラム実施地によっては、ご希望に沿うことができない場合があります。あらかじめご了承ください。

8. 個人情報の取り扱い

ご提出いただいた内容および個人情報、またプログラム期間中に撮影された写真や動画につきましては、国際交流基金が個人情報保護法に沿って責任をもってお取り扱いし、本事業の運営を行うためのみ利用します。ご意見や、データを一部公開させていただく場合もありますが、ご本人の許可なく、個人が特定できる形で公開することはありません。また、個人情報を商業目的で第三者に売却したり、公開することはいたしません。

9. 問い合わせ先

国際交流基金アジアセンター文化事業第2チーム EYESプロジェクト 担当：工藤 真紀

Tel: 03-5369-6025 Fax: 03-5369-6141

E-mail: Maki_Kudo@jpf.go.jp